

真宗大谷派大阪教区「原発に依存しない社会の実現を目指す委員会」主催

原子力問題を考える公開講座

原発事故から5年 放射線の健康影響を考える

被災者に寄り添って

甚大な被害をもたらした東日本大震災から5年が経ちました。真宗大谷派「原発に依存しない社会の実現を目指す委員会」では、原発に依存しない社会の実現を願い、講演会やフィールドワーク、福島の子どものための保養事業などの活動を継続的にを行っています。

このたび、水俣病患者や原爆被曝者・原発労働者の被曝問題に関わり、福島原発事故被災者の診察をするなど、医療から阻害され苦しむ人々に寄り添ってきた村田三郎氏を講師にお招きし、講演会を開催いたします。

放射線が健康に及ぼす影響については諸説ありますが、実際に医療の現場からこの問題に携ってこられた村田氏の見解を聞くことで、問題を深く知り、それぞれが考える一助となれればと願います。そのほか、被曝労働はじめ原子力問題全般に関することについてお話しいただきます。皆様ぜひご参加ください。



講師

むら た さぶ ろう
村田三郎氏

(阪南中央病院副院長)

【講師プロフィール】

大阪大学医学部卒。大阪大学医学部附属病院放射線科に勤務し研鑽を積む。1978年より阪南中央病院に勤務。長年にわたり広島・長崎の原爆被曝者の健康診断や診療、原発の労働者被曝問題に関わり、労災認定に尽力した。論文「『ヒバク-原爆被曝、原発被曝』その差別の構造」(『いのちを奪う原発』真宗ブックレットNo.9所収)。

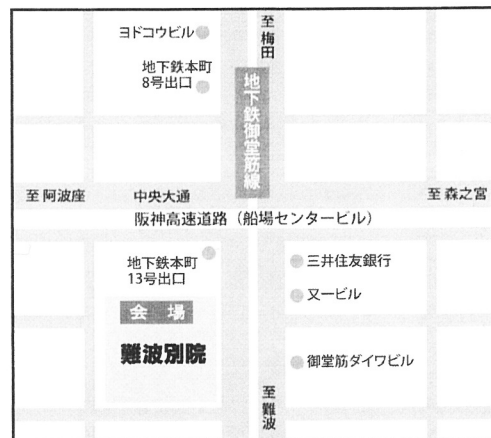
2016年

5月26日(木) 午後6時から

会場 | 大阪府中央区久太郎町4丁目1番11号
難波別院同朋会館 講堂

入場無料

地下鉄御堂筋線「本町」駅
13番出口から南へ徒歩3分



お問い合わせ

真宗大谷派大阪教務所

TEL: 06-6251-4720

Eメール: osaka@higashihonganji.or.jp